

【川崎】森林再生などの環境ビジネスエージェンシー（東京・千代田、鈴木敦子社長）は静岡県熱海市の再生林の樹木や草花を鉢植えにした「里山BONSAI」を首都圏の消費者に販売する事業を始めた。

環境ビジネスエージェンシー

再生林の樹木 鉢植えに

ヒノキの丸太で作った鉢に植え商品化。アラカシやヤブムラサキ、ナンテンなど3種ほど植え、表土を保水用のコケで覆った。鉢の直径は約30センチで植え込んだ高さは約60センチ。価格は税・送料込みで1万6200円。

熱海の森はJR網代駅の西方にあり、広さ約7・5畝。戦後まもなく人の手が入らなくなり高木

熱海の自然、首都圏へ

になったコナラが台風で倒れ土砂が流出。シカが食べないシキミやヒサカキ、ヒイラギが陽光を遮る暗い森だった。

2010年からNPOが伐採を進めたところ、林床に光が届くようになり、絶滅危惧種のサクラガンピやオトメアオイのほか、エビネやラン類などの休眠種子が次々と発芽したという。